

第128回生涯教育研修セミナー

日時 2022年10月22日(土) 午後3:00~6:40

場所 京王プラザホテル 南館4階「錦」 〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1

※参加費無料・事前登録制(お申込多数の場合は先着順となります。)

下記のURLまたは二次元コードにて10月15日(土)までにGoogleフォームでの参加登録をお願いいたします。
追って事務局より詳細内容をお送りします。また、定員に達した場合は、申込受付を締め切りますので、ご了承ください。
<https://forms.gle/m1vWRWR5xml8jEVw5>



参加対象 慶應義塾大学医学部、三四会、慶應医師会、慶應義塾大学関連・紹介病院、東京都地区医師会に所属する医師

取得単位 日本医師会生涯教育制度参加証交付 3単位 カリキュラムコード 23,76

開会の辞

挨拶

挨拶

挨拶

生涯教育研修セミナー委員会 委員長

医学部長・慶應医学会長

慶應医師会会長

三四会会長

茂松直之

金井隆典

安井正人

武田純三

テーマ

『腸内細菌と糖尿病・肥満症』

生活習慣に関連して発症する糖尿病や肥満症は、先進国を中心に全世界で急増する疾病であり、感染症と並びWHOにより緊急に対応すべき課題に指定されている。糖尿病や肥満症は、動脈硬化性疾患のみならず、呼吸器疾患やがんの原因となることも明らかにされており、その病態の解明と治療法の開発が急務である。しかしこれまでの血糖値を下げることに主眼を置いた糖尿病治療は必ずしも生命予後の改善に寄与しないことが示され、また肥満症に対する有効な治療戦略は極めて乏しいのが現状である。新しい視点からのアプローチが求められている。

近年、個体に共生する腸内細菌および代謝産物の網羅的解析が可能になり、様々な疾患における腸内細菌叢の変化が報告されている。糖尿病や肥満症においても、腸内細菌叢の構成と機能が健常者と異なるとの報告がモデル動物とヒトで相次いで報告されている。さらに腸内細菌叢の変化が病態を修飾しており、腸内細菌の機能修正による糖尿病・肥満症の治療が試みられている。

そこで本セミナーでは、糖尿病・肥満症において認められる腸内細菌叢と腸管慢性炎症について、また様々な糖尿病治療薬の作用点に関与する腸内細菌の意義について、最新知見の講演をお願いした。さらに、腸内細菌が腸管腔内で代謝・産生する短鎖脂肪酸や様々な脂肪酸について、糖尿病・肥満症における変化とそれを応用した治療について、本領域を牽引する若手研究者である宮本博士に講演をお願いした。

本講演が、明日からの新たな生活習慣病診療の一助となることを期待している。

モデレーター

慶應義塾大学医学部 内科学教室(腎臓・内分泌・代謝) 教授

伊藤 裕

1. 『腸管免疫の制御を介した新しい糖尿病治療』

慶應義塾大学医学部 内科学教室(腎臓・内分泌・代謝) 助教

川野 義長

2. 『糖尿病・肥満症の病態と治療における腸内細菌の意義』

富山大学 学術研究部医学系 第一内科 准教授

藤坂 志帆

3. 『腸内細菌代謝産物を応用した糖尿病・肥満症の治療戦略』

東京農工大学 大学院農学研究院 応用生命化学プログラム食品機能学研究室 准教授

宮本 潤基

挨拶

挨拶

大正製薬株式会社

慶應義塾常任理事

上原 明

北川 雄光

次回予定 2023年2月25日(土)開催

※今回のセミナーは情報交換会は開催せず、講演会のみとなりますのでご了承ください。

共催 慶應義塾大学医学部生涯教育研修セミナー委員会
慶應医師会
慶應義塾大学医学部三四会
慶應医学会
大正製薬株式会社

連絡先 〒160-8582 東京都新宿区信濃町35番地
慶應義塾大学医学部総務課内 生涯教育研修セミナー事務局
TEL.03-5363-3611(直通) E-mail:med-somu-3@adst.keio.ac.jp